

西村町長の政治姿勢 所信表明

6月17日から24日にかけて開催された第2回町定例議
にしむらひろのり
会。西村博則新町長が所信を表明し、町民の代表である町議
会に新しい町づくりについて自らの姿勢を示しました。

「厳しい財政状況の中、10年後20年後の将来人口や年齢
構成を見据えた明確な町づくりビジョンの構築、積極的な情
報公開による「町政の見える化」、そして町民と一緒に
考え、まちをつくる、共創による「町民が主役のまちづくり」
を推進する新町長の政治姿勢をみなさんにお伝えします。
(所信表明を抜粋)

みんなが元気に “まち” を 笑い合える

近年、経済不況や少子高齢化の進
展などにより、日本を取り巻く
社会経済情勢は大きな変革の時期を
迎え、その潮流は、本町においても大
きな波となって押し寄せています。

また、地方自治体には、住民ニーズ
の多様化や地方分権の推進などで、
自立した自治体として自らの地域の
ことは自分たちで決定し、その責任
を自分たちが負う「自己決定・自己責
任」が強く求められています。

こうした中、私は様々な問題につ
いて、町民のみなさんと意見を交わ
し「益城に住んで良かった」と思っ
ただけのような、町民と行政が一
体となった共創によるまちづくりに
取り組みます。

本町には、水と緑が豊かで自然に
恵まれた「自然豊かな顔」と熊本
の「空」と「陸」の玄関口を有すなど生活
利便性がすぐれた「都市型の顔」の2
つ「顔」を合わせ持っています。この
すばらしい素材を共存・調和・融合さ
せ「町民のみなさんが、元気に笑い合
えるまちづくり」の実現を目指し、み
なさんと一緒に新しい益城町を築い
てまいります。

私は、多くの町民のみなさんお一
人お一人と直接お話をさせてい
ただき、町政に対する様々なご意見
やご提言をいただきました。そこで
みなさんが口々に言われていたのは、
将来の暮らしへの不安でした。中で